



知って中の仕事 言語聴覚士

患者さんの話す・聞く・食べるを支援
さまざまな人との関わりにやりがい

「話す」「聞く」「食べる(飲み込む)」ことなどが難しい患者さんに対し、評価やリハビリテーションを行う言語聴覚士。豊岡病院リハビリテーション技術科で働く林ゆり香さんに、仕事内容、やりがいなどについて聞きました。

言語聴覚士は、病気がけがなどで言葉によるコミュニケーションが難しくなったり、食べ物が飲み込みにくくなった患者さんに対して、その状態を評価し、症状改善の訓練を行う専門職です。豊岡病院では、子どもからお年寄りまで幅広い世代の患者さんに対応します。

大学卒業後は事務の仕事をしていました林さん。何か資格を取ろうと本を見ていて、言語聴覚士に興味を引かれました。そこから2年間専門学校に通って国家試験に合格し、資格を取得。京都市内の病院で働いた後、地元の豊岡市に戻り2023年、豊岡病院に入りました。現在は子育てをしながら働いています。

高次の精神活動が障害される「高次脳機能障害」、ことばを聞いて理解する・発話する・字を読む・書くの言語モダリティに何らかの症状が生じる「失語症」、食べること・飲み込むことに困難が生じる「嚥下障害」など、様々な症状の患者さんを担当しています。医師指示の下、必要な評価を行い訓練を行っています。看護師や栄養士、医療ソーシャルワーカーと連携し自宅や施設へ繋げていけるよう動いていきます。

評価やリハビリの方法は、症状によってさまざまです。「嚥下障害」の患者さんに対



豊岡病院 リハビリテーション技術科 言語聴覚士 林 ゆり香 (はやし・ゆりか)

令和6-7年度採用試験のお知らせ

募集職種	募集人数	募集受付	試験日
看護師	60名	11月29日(金)	12月7日(土) 以降も毎月第一土曜 実施予定
言語聴覚士 作業療法士	若干名	~11月28日(木)	12月7日(土)
病院マネジメント職員 (事務職員)	若干名	~11月29日(金)	一次試験：12月7日(土) 二次試験：11月18日(土)

詳しくは、ホームページをご覧ください

**令和6年 第2回公立豊岡病院組合議会
7月定例会が開催されました**

7月9日から8月6日まで開催された公立豊岡病院組合議会の議案と結果について、ホームページからご覧いただけます。

問い合わせ：公立豊岡病院組合議会・監査事務局 TEL 0796-22-6111 (内線2020)



バレー経験者を中心にチームを結成
地域大会での優勝を目指す

公立豊岡病院組合の職員有志が2023年、男女混合のバレーボールチームを結成。代表の田村想貴さん(豊岡病院リハビリテーション技術科)にチームの活動や仕事への影響などを聞きました。

— どのような活動をしていますか。
バレーボールが好きな公立豊岡病院組合の職員らで集まり、男女混合バレーを楽しんでいます。練習は週2回、夜に豊岡市立豊岡北中学校の体育館でしています。

— チームのメンバー構成は。
現在のメンバーは30人程度で、20代が中心です。職種は看護師が多いですね。部活動での経験者もいますし、大学のサークルでしたことがあるぐらいの人もいます。

— チームの目標は。
定期的に京都府与謝野町で開催される大会に出場していて、今春の大会では準優勝することができました。決勝戦では優勝チームに惜しいところまでいったので、今シーズン中の優勝を目指しています。

— スポーツが仕事に与える影響は？
私はリハビリテーション技術科に所属していますが、看護師をはじめ他の職員との連携がしやすくなりました。昨年入職したので、バレーを通じて人間関係を築いてくれたのは大きな収穫でした。プライベートでの付き合いもあり充実しています。

— チームのメンバー構成は。
定期的に京都府与謝野町で開催される大会に出場していて、今春の大会では準優勝することができました。決勝戦では優勝チームに惜しいところまでいったので、今シーズン中の優勝を目指しています。

— スポーツが仕事に与える影響は？
私はリハビリテーション技術科に所属していますが、看護師をはじめ他の職員との連携がしやすくなりました。昨年入職したので、バレーを通じて人間関係を築いてくれたのは大きな収穫でした。プライベートでの付き合いもあり充実しています。



豊岡北中学校での練習の様子

医師異動のお知らせ


氏名	診療科	日付
山田 祥仁	小児科 医員	令和6年10月18日着任
元祖 彩乃	小児科 医員	令和6年10月18日着任
野村 勝太	小児科 派遣医	令和6年10月18日着任
山本 修平	脳神経外科 医員	令和6年10月18日着任
上田 三郎	産婦人科 医員	令和6年10月18日着任
浦 佐和子	眼科 医員	令和6年8月18日着任
岩田 航右	救急集中治療科 医員	令和6年10月18日着任
金城あやか	救急集中治療科 医員	令和6年10月18日着任
森 美砂	総合診療科 医員	令和6年9月30日退職
米村 悠	精神科 医員	令和6年8月2日退職
原 将輝	小児科 医員	令和6年9月30日退職
藤原 知咲	小児科 派遣医	令和6年9月30日退職
小山 達也	消化器外科 医員	令和6年9月30日退職
森 圭市郎	整形外科 医員	令和6年9月30日退職
池尾 諒介	脳神経外科 医員	令和6年9月30日退職
坂部 晃平	産婦人科 医員	令和6年9月30日退職
矢野 愛華	救急集中治療科 医員	令和6年9月30日退職
池田 修斗	救急集中治療科 医員	令和6年9月30日退職
濱口 悠	救急集中治療科 医員	令和6年9月30日退職

組合公式 Instagram

公式ホームページから「ほすびたる」をご覧ください

「豊岡病院組合」を検索

公式ホームページにアクセス



このバナーをクリックすると「ほすびたる」掲載記事が閲覧できます。

但馬の医療を綴る — ほすびたる

2024年11月
公立豊岡病院組合広報紙
第117号

もしも、生きることができる時間が限られているとしたら、あなたにとって大切なことはどんなことですか？

「もしもの時」に備えて、「ACP」(人生会議)をしてみませんか？

出石医療センターは2023年から、「もしもの時」に備えて、患者さんが大切にしていることや希望する医療やケアについて話し合う「アドバンス・ケア・プランニング」(ACP、人生会議)に取り組んでいます。「もしもの時」がいつ訪れるかは誰にも分かりません。あなたが人生をどう過ごしていきたいか、周りの人たちと考えてみませんか？

アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは

「アドバンス・ケア・プランニング」(ACP、人生会議)とは、思わぬ病気がけがなどによって、自分の思いや考えを伝えられなくなった時のために、自分がどのような医療やケアを望むかについて、自分で考えたり、家族や大切な人たちと話し合ったりすることです。

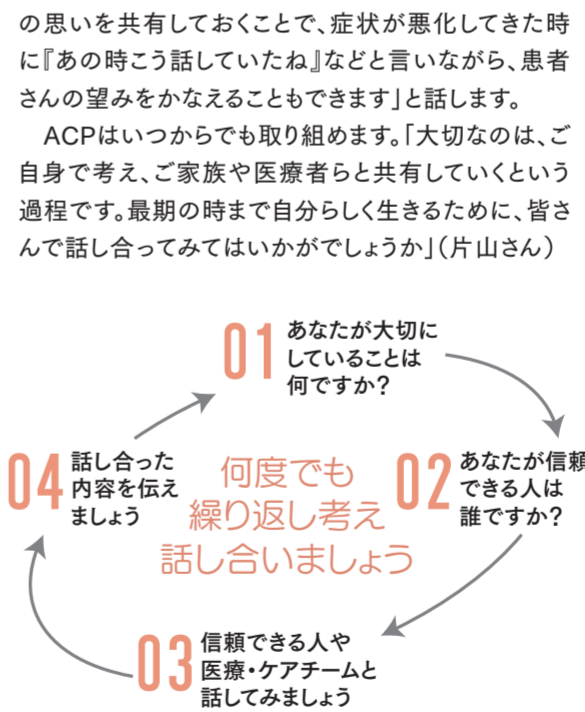
日々の過ごし方や人間関係など、自分が大切だと考えていることや、呼吸や食事が難しくなった時にどのような医療やケアを受けたいか、最期が近づいてきた時にどこで過ごしたいかなどについて考えます。自分が判断したり、希望を伝えたりできなくなった時に、代わりに判断してほしい人も決めておくといでしょう。これらを家族や医療者らと話し合い、共有します。

時間の経過や心身の状態の変化によって、考えが変わることもあるでしょう。ACPは1度決めれば終わりではなく、何度も繰り返し考え、話し合います。厚生労働省は、11月30日(いい看取り・看取られ)を「人生会議の日」とし、普及・啓発活動を進めています。

どうしてACPが大切なのか？

命の危険が迫った状態になると、約70%の人が、自分で医療やケアを決めたり、希望を伝えたりすることができなくなると言われています。こうした時に、周りの人たちが本人の意向を知らないと、本人が望んでいない治療やケアを受けさせられる、ということにつながります。

出石医療センター内科医長の片山篤志さんは「事前に話し合っておけば、患者さんが意思表示ができなくなっても、ご家族がご本人の意思を尊重した決定ができます」。副看護師長の谷口公子さんも「お互い



片山 篤志
内科医長

谷口 公子
副看護師長



出石医療センターの取り組み

出石医療センターは、2023年に患者さんや家族らがACPに取り組むための書類「わたしのこころづもり～自分らしく生きるために～」を作成。呼吸状態が悪くなる、心不全で入退院を繰り返す、認知症が進んでいる患者さんらを中心に、ACPを提案しています。

まずは医師が患者さんや家族らにACPについて説明し、自分が大切にしていることや、思いを伝えられなくなった時の延命治療、最期が近づいてきた時に過ごしたい場所、自分の代わりに判断してほしい人などについて考えてもらいます。基本的にはその場で、書類に記された複数の選択肢から自分の考えに近い答えを選んでもらったり、自分の思いを書いてもらったりします。「分からない」という選択肢もあります。その後、書類の原本は返却し、内容は電子カルテにも保存しておきます。

2023年は、約20人の患者さんに書類を作成してもらいました。「ACPという言葉が知らなくても、もともと考えている方が多いです。患者さんやご家族が納得して確認をするという点に手ごたえを感じています」と片山さん。今後も地域のかかりつけ医やケアマネジャー、福祉施設などと連携して、取り組みを進めていきます。

手術支援ロボット 「da Vinci (ダビンチ) Xi」 豊岡病院における運用

1990年代にアメリカで開発された手術支援ロボット「da Vinci(ダビンチ)」。
当院は2017年、ダビンチの第4世代「ダビンチXi」を北近畿地域の医療機関で初めて導入しました。
現在は泌尿器科や消化器外科、産婦人科の手術で使われています。

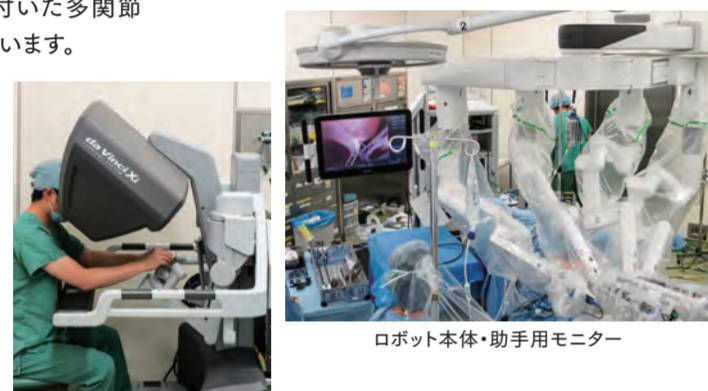
ダビンチとは？

ダビンチは、腹腔鏡手術など患者さんの体の負担が少ない内視鏡手術に使うロボットです。ロボット本体と操作台、助手用のモニターで構成されていて、ロボットには3本のアームと1本のカメラが装着されています。

ロボットは認定資格を取得した医師が操作します。手術室内の手術台から少し離れた操作台に座り、体内を立体的に映しだした3Dカメラの映像を見ながら、手術器具が付いた多関節のアームを遠隔操作して手術を行います。

胃がんの胃全摘術・幽門側胃切除術・幽門保存胃切除術、直腸がんの直腸前方切除術・直腸切除術、大腸がんの結腸切除術、産婦人科で子宮体がん・子宮良性疾患の子宮全摘術などの手術で使われています。

保険適用となっている手術がほとんどですが、自由診療では2023年11月、兵庫県内の医療機関で初めて、ダビンチを使って消化器外科で鼠径ヘルニアの手術を行いました。



操作台

どんな手術で使うの？

当院では2017年にダビンチを導入して以降、毎年80～130件程度の手術で活用してきました。現在は、泌尿器科で前立腺がんの前立腺全摘術、腎臓がんの腎部分切除術、膀胱がんの膀胱全摘術のほか、消化器外科で

当院でのダビンチ手術の件数推移

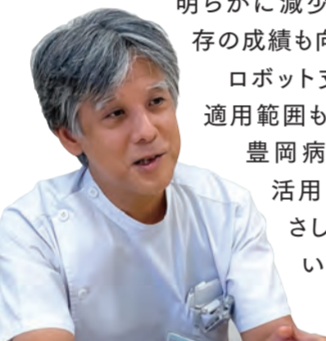
2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
92	82	90	69	99	131

ロボット支援手術のメリット

ロボット支援手術は、人間の手では再現できない角度の動きもできる多関節のアームを操作して行うため、患者さんの体の負担が少なく、より正確で安全な手術が実施できます。

豊岡病院泌尿器科部長の渡部淳さんは「扱いが難しい手術器具を使う腹腔鏡手術と比べると、直感的に、自分の手と同じようにアームを動かすことができるため、神経や細い血管などを温存する、より繊細な手術ができるようになりました」と話します。「ロボットでしかできない手術にも取り組めるため、患者さんの体の機能温存にもつながっています。例えば前立腺全摘術では、合併症である失禁のリスクが明らかに減少し、性機能の温存の成績も向上しています」

ロボット支援手術の保険適用範囲も広がっています。豊岡病院はダビンチを活用し、患者さんにやさしい手術を行っています。



泌尿器科 部長
渡部 淳
わたなべ・じゅん



豊岡病院 女性泌尿器科外来

泌尿器科は行きにくい？
いえいえ、気軽に受診してください。



泌尿器科 医員
女性泌尿器科外来
横関 仁志
よこぜき・ひとし

横関医師に話を聞きました！

当院では2016年に女性泌尿器科外来を開設しました。患者さんが比較的少ない水曜日の午後に、患者さんのプライバシーに配慮しながら排尿などに関する診療を行っています。私は2024年4月から担当し、毎回5～8人を診療しています。年齢層は40代後半から70、80代まで、更年期以降の方が多くですね。

股間に違和感がある、何度もトイレに行きたくなる、といった方に多いのが、「骨盤臓器脱」という病気です。女性の骨盤は広く、子宮や膀胱、直腸などの臓器は骨盤底筋群という筋肉のテントに支えられています。しかし、出産や年齢を重ねて筋力が落ちてくると、支えきれなくなった臓器が下に落ち、筋肉のない膣から出てくる場合があります。せきやくしゃみなどでお腹に圧がかかった時に尿が漏れてしまう「尿圧性尿失禁」の方も多

です。膀胱と膣の間に穴が開いてしまい、尿意がなくても膣から尿が漏れてしまう「膀胱膣瘻」という病気もあります。こうした病気は症状が悪化するとQOL(生活の質)が下がってしまいます。

こうした病気は投薬や手術などで治療します。例えば骨盤臓器脱なら、医療用のメッシュを骨盤底に留置し、膣を仙骨(腰の骨の部分)に固定する手術をします。腹腔鏡またはロボットで行いますが、お腹の傷も小さく、入院期間も5日程度です。腹圧性尿失禁については、尿道を締めやすくするお薬の処方から始めることが多いです。手術することもあります。

手術や治療を受けられた患者さんは、皆さん「もっと早く来ればよかった」とおっしゃいます。恥ずかしいという気持ちもあると思いますが、お気になさらず受診してみてください。

こんな症状でお困りならご相談ください

- ・せきやくしゃみをした時などに尿が漏れる
- ・知らない間に下着や吸水パッドが濡れている
- ・おしっこに痛みがある
- ・何度もトイレに行きたくなる
- ・排尿・排便後に残る感じがする
- ・股間や下腹部に違和感がある
- ・股間から何か出ている気がする

お気軽にお問い合わせください

主担当医：泌尿器科
横関 仁志 よこぜき・ひとし
診療日時：毎週水曜日
午後診 13:30～(予約制)
TEL.0796-22-6111

豊岡病院 救命救急センターからのお願い

救急の適正利用について

当院の救急は、生命を脅かすような重篤な疾患の患者さんや、緊急で処置しなければ重度の障害が残る患者さんに対して、優先的に救急診療を行う三次救急医療機関となっております。時間外は救急科の医師が応急的な処置や治療を行っております。重篤な患者さんへの治療を優先的に注力できるよう、比較的軽微な場合は、平日の診療時間内に来院いただき、時間内に受診できないからという理由での受診はお控えいただきますようお願いいたします。なお、緊急性がないと判断した救急受診の方には「時間外診察料金」を負担していただいております。

2024年4月より医師の働き方改革が始まっております。今後も継続的に医療を提供していくためには医師の負担軽減も必要となります。但馬地域の救急医療を守っていくために、ぜひ地域の皆様のご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

- 三次救急：一次、二次では対応できない高度な処置を必要とする救急医療。緊急性が最も高い。生命を脅かすような重篤な症状の方や、緊急で処置をしなければ重度の障害が残る方が該当する。
- 二次救急：入院と加療が必要な中等症患者に対する救急医療。
- 一次救急：入院の必要がない程度の軽症患者に対する救急医療。比較的軽微な症状が強く、緊急性も一番低い。

感染症の検査について

当院ではインフルエンザや新型コロナウイルス感染症に関する患者さん希望による検査は実施していません。また、抗インフルエンザ薬の処方も原則行っていません。医師が必要と判断した場合のみ行います。

大型連休期間の救急医療について

年末年始は特に多くの救急受診が予想されますが、緊急度、重症度の高い患者さんへの治療を最優先に行うため、緊急度の低い方には長時間お待ちいただく場合や応急的な治療しか提供できない場合があります。また、「以前から服用している薬が切れるので追加が欲しい」といった、予想可能なことでの救急受診はご遠慮ください。

救急の受診が必要か迷ったら

まずは下記の受診ガイド、電話相談をご利用ください。

大人 (15歳以上)

●救急受診ガイド「Q助」

総務省消防庁
web版とアプリ版があります。 「Q助」案内サイト



子ども (15歳未満)

●電話番号：# 8 0 0 0

兵庫県子ども医療電話相談事業
平日、土曜日：午後6時～翌日午前8時
日曜日、祝日、年末年始：午前8時～翌日午前8時

●電話番号：0796-22-9988

但馬地域小児救急医療相談電話
毎日：午後7時～午後10時

World Diabetes Day (WDD) (世界糖尿病デー) について

世界糖尿病デー(11月14日)は、糖尿病の脅威が世界的に拡大しているのを受け、世界規模で糖尿病に対する注意を喚起しようと、世界保健機関(WHO)によって1991年に開始され、2007年には国連の公式の日になりました。11月14日は、1922年にインスリンを発見したバンティング博士の誕生日にあたります。現在、世界160カ国から10億人以上が参加する世界でも有数の疾患啓発の日となっており、この日を中心に世界中で繰り広げられる糖尿病啓発キャンペーンは、糖尿病の予防や治療継続の重要性について市民に周知する重要な機会となっています。日本国内における世界糖尿病デーの認知促進と糖尿病に関する知識の普及啓発のため、本年も全国各地で著名建造物のブルーライトアップが計画されています。豊岡市の稽古堂でも11月

10日(日)から11月16日(土)までブルーライトアップが行われます。豊岡病院で院内電子掲示板やパネル展示を行う他、日高クリニックではイベント(TOPICS参照)を行い情報提供して参ります。



インスリンを発見したバンティング氏とベスト氏(インスリンで元気になった犬とともにトロント大学医学棟の屋上で撮影された糖尿病史上最も有名な写真)



New York 国連本部



豊岡市稽古堂

TOPICS 各病院のお知らせ情報

豊岡病院



9月23日に行われた開通式典に当院のドクターカーが参加しました

但馬空港IC～豊岡出石ICが開通

2024年9月23日に北近畿豊岡自動車道豊岡道路 但馬空港IC～豊岡出石ICが開通しました。新しくできた豊岡出石ICは豊岡病院のすぐ近くにあり、これにより南方面とのアクセスの利便性はさらに向上し、救急車の搬送時間やドクターカーの現場到着時間が短縮されます。救急医療では一刻も早く医療行為を始めることが重要なため、更なる救命率の向上が期待されます。

出石医療センター



「AED持ってきて！」

当院では全職員を対象にBLS研修を実施しました。BLS(=Basic Life Support)とは、心停止の急病人に対し、医師や救急隊が到着するまでの間に行う応急処置のことです。研修会では胸骨圧迫の方法やAEDの使用法を確認し、急病人の発見から、通報、医師への引き継ぎまで、一連の流れを訓練しました。いっどこで急病人が発生しても落ち着いて救命対応ができるよう、全職員の知識技術の向上に努めてまいります。

朝来医療センター



朝来医療センターゴルフコンペ

コロナ禍で職員の親睦を深める機会も少なくなった昨今、感染の心配の少ない屋外で行えるものということで第1回を6月に、9月には第2回を開催しました。当医療センターではほかに「男会」なる男性職員だけの親睦を深める会も存在し、職員の円滑なコミュニケーションや結束力の強化に役立っています。

日高クリニック

糖尿病週間イベントを開催します
ポスター展示
運動の会

2024年 11月11日(月)～15日(金)
運動・消費エネルギー量など
13日(水) 14:00～15:00
予約制で実施させていただきます
定員になり次第申し込みを終了します
参加費:300円程度

場 所: 日高クリニック 正面玄関フロア 問合せ: 日高クリニック 0796-42-1611 (代表)